

電気学会中国支部 専門講習会 ご案内

「保護リレーの方式・運用の現状と海外技術動向」

保護リレーは、電力系統、電力機器の故障や異常を検出し遮断器を開放してその設備を停止することにより保安を確保するとともに、故障の影響を最小限に止めることを使命とする。適用される保護リレーに必要とされる機能および信頼性は、電気の品質・量に関する社会的要求、それに応えるための設備形成と運用方法と密接に関連し、電力系統の拡大、変遷とともに進歩してきた。このため、各電力会社、電気所の設備形態、運用方法に対応した個別仕様の装置が適用されているのが実態である。一方、海外においては、海外メーカーが汎用の保護リレー要素を収納具備し、カタログ販売しているものが適用されている。そこで、本技術報告書は、国内で適用されている代表的な保護リレー方式の仕様、および保護対象設備の形態も含めた運用の考え方、具体的な運用方法の現状について比較調査し体系的に整理するとともに海外の保護リレー方式の現状と関連規格の動向についても調査し、国内との違いについて分析している。

専門講習会では、上記調査内容結果について広くご紹介いたします。奮ってのご参加をお待ちしています。

日 時 平成28年9月29日(木) 13時30分～16時35分

会 場 中国電力株式会社 1号館 1-3-1会議室

〒730-8701 広島市中区小町4番33号

(URL: <http://www.energia.co.jp/honten/index.html> をご覧ください。)

講師と題目

13:30～13:35	開講挨拶	電気学会 中国支部
13:35～13:55	保護リレーの方式・運用の現状と海外技術動向 調査の概要	山口晃敏(東京電力パワーグリッド)
13:55～14:25	送電線保護リレーの運用と仕様の比較	西山明文(中国電力)
14:25～14:55	母線保護リレー・変圧器保護リレーの運用と仕様の比較	山口 誠(北海道電力)
14:55～15:05	休憩	
15:05～15:25	再開路方式・遮断器不動作対策の運用と仕様の比較	吉岡秀幸(日立製作所)
15:25～15:45	入出力回路などに関わる仕様の比較	小杉大吾(九州電力)
15:45～16:05	海外における保護リレー方式の現状	白井正司(三菱電機)
16:05～16:30	保護リレー仕様差異の分析と今後の方向性	犬飼道彦(東芝)
16:30～16:35	閉講挨拶	電気学会 中国支部

- ・参加費(テキスト代別):主催・共催学会 会員 3,000円、准員 1,500円、学生員 無料(会員不課税)、会員外 5,000円、学生 無料(会員外消費税込み)

- ・テキスト:電気学会技術報告 第1331号「保護リレーの方式・運用の現状と海外技術動向」
頒布価格 特別販売価格 1,000円(税込) 【参考】定価 1,296円
テキストが必要な方は申し込み時に「テキスト希望」と書いて下さい。テキストは当日お渡しいたします。

定 員 : 80名(定員になり次第、締切ります)

申込締切:平成28年9月21日(水)

申込方法:講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先(会社あるいは学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号)ならびにテキストの可否をE-mailまたはFaxで下記の申込先までご連絡ください。

なお、お知らせ頂きました個人情報、行事を運営する目的以外に使用することはありません。

申込先 : 〒730-8701 広島市中区小町4番33号 中国電力株式会社 流通事業本部内 電気学会中国支部事務局

Tel : 082-544-2667 Fax : 082-544-2668 E-mail : T-ieee.jp@net.energia.co.jp

電気学会中国支部HP <http://www.iee.jp/chugoku/>

主 催 : 電気学会 中国支部

共 催 : 電気学会 保護リレーシステム技術委員会, 電気設備学会中国支部, 照明学会中国支部, 日本電気技術者協会中国支部, 計測自動制御学会中国支部, 情報処理学会中国支部, 電子情報通信学会中国支部, 中国・四国工学教育協会産業教育部会